

市民の皆様へのお願い

網走市においても高齢化は今後も進み、地域で生活する高齢者も増えていきますが、少子化もあり「担い手不足」が深刻化していくことが予想されます。

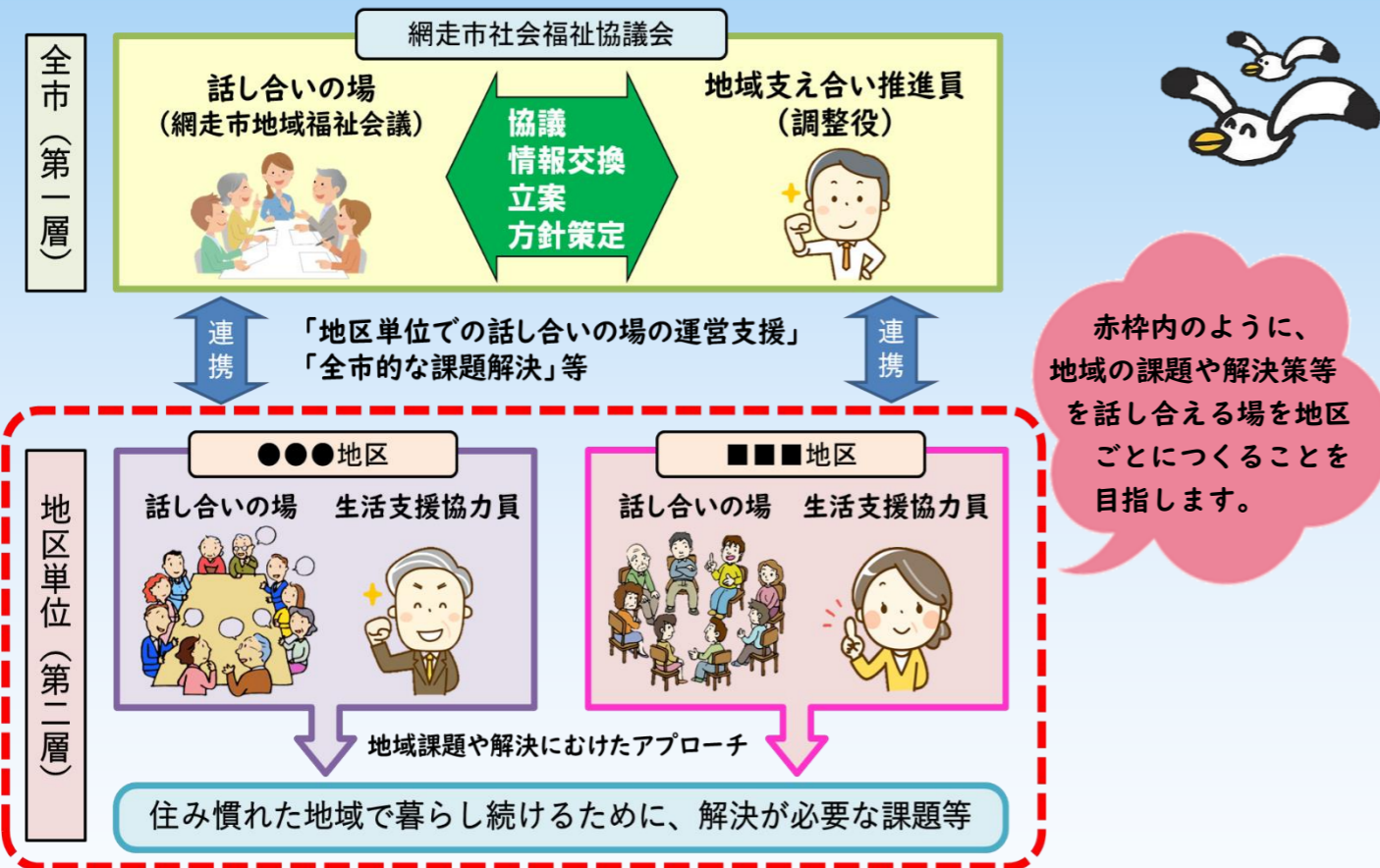
生活する中、齢を重ねることで「できないこと」「困ること」等、様々な不安要素が増える中、その不安要素を少しでも取り除いていくことが、住み慣れた地域で安心して生活ができることにもつながります。

そのためには、まずは一人ひとりが元気を保つことが大切です。その上で、社会参加ができる環境づくりと、高齢者が持つ「知識」「経験」を最大限生かした地域の支え合いの仕組みをつくるのが、これからの地域づくりの大きなカギとなります。

現在、地区ごとに関係者の方々から実情をお聞きしながら、懇談会やワークショップ、アンケート調査等の取り組みを進めています。住みよい地域を作るには、そこに住む住民の考えや声を反映させることがとても重要と考えております。

本事業の取り組みへのご理解とご協力をお願いいたします。

地域づくりのイメージ図



お問合せ先

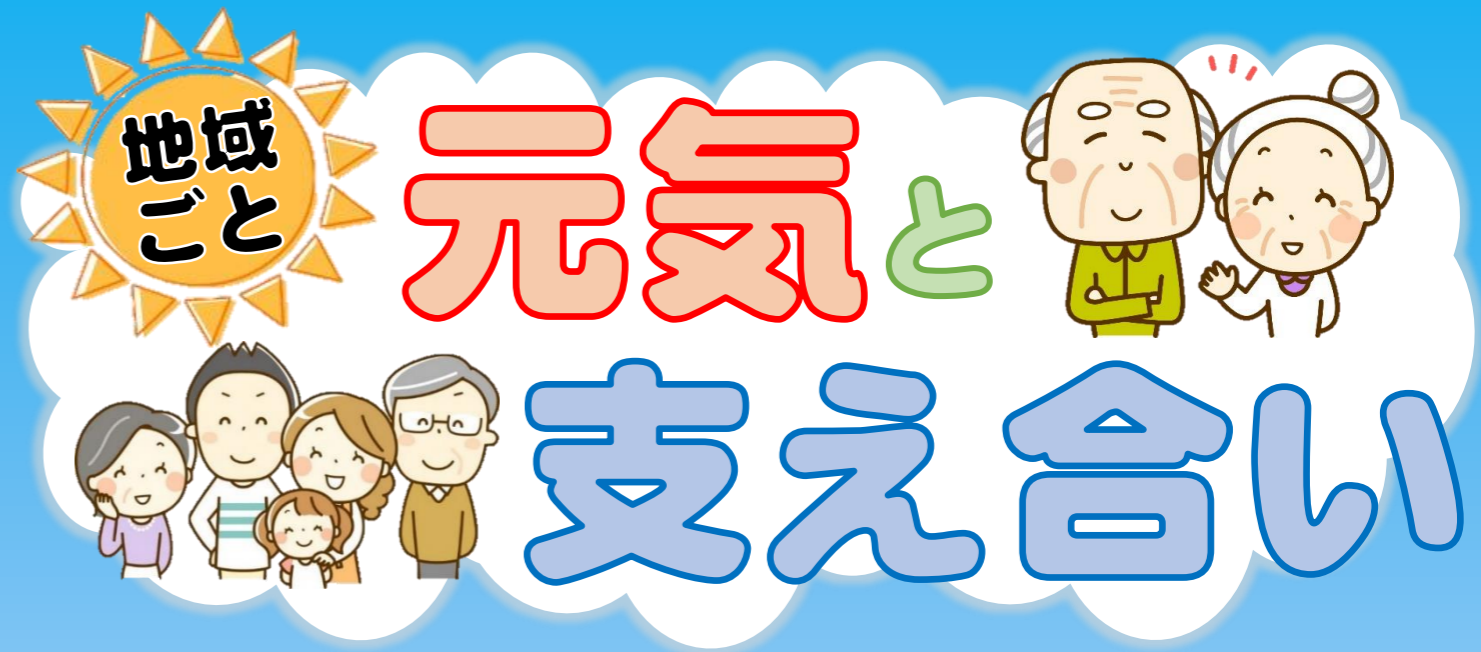
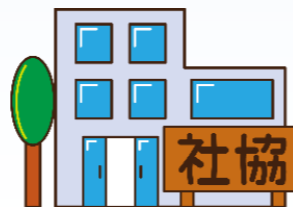
社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

〒093-0061

網走市北11条東1丁目総合福祉センター内

電話 (0152) 43-2472

FAX (0152) 43-3919



生活支援体制整備事業 進捗状況のご報告

「生活支援体制整備事業」は、年齢を重ねても住み慣れた地域で生きがいを持ちながら、自分らしい生活がおくれるよう、高齢になっても元気を保ち、自分が持っている知恵や力を身近な地域の支え合いに生かしていける環境を地域単位で作っていくもので、「住民が主役」の事業です。

この事業は2017年4月よりスタート。網走市社会福祉協議会に配置された地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）が中心となり、行政、関係機関、地域の関係者が連携を図りながら進めています。

事業開始1～2年目は、「市民への事業説明」「市民向けフォーラムの開催」「地域の関係者との話し合い」「地域の情報収集」等、市民周知と地域との関係づくりを中心に進めました。

3年目～現在は、地区単位で「元気」と「支え合い」を広げるための話し合いの場づくりを目指し、地区の関係者のご意見をうかがいながら話し合いを行い、地域課題の見える化、課題の解決策の検討や取り組みを進めています。

今回、地域単位での取り組みを中心に、進捗状況をご報告させていただきます。

取り組みを進める地区について

地区連合町内会を中心とした地区ごとに、生活支援コーディネーターが地域関係者に対する趣旨説明を行い、「今後の進め方」や「地域課題の抽出」などの話し合いを進めています。

取り組みを進める地区 ※地区の状況により増えることがあります。

- | | | | | |
|--------|----------|---------|----------|-------|
| ①西地区 | ②北地区 | ③向陽ヶ丘地区 | ④台町地区 | ⑤鉄南地区 |
| ⑥呼人地区 | ⑦東部地区 | ⑧南部地区 | ⑨西網走地区 | ⑩桂町地区 |
| ⑪鱒浦地区 | ⑫南西・南東地区 | ⑬潮見地区 | ⑭つくしヶ丘地区 | ⑮駒場地区 |
| ⑯天都山地区 | ⑰新町地区 | | | |



網走市全体にかかわる取り組み

地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）が中心となり、取り組みを進めました。

★網走市地域福祉会議の運営

☞ 網走市全体で地域づくりに関して定期的に情報共有や情報交換、連携等を行う場を開催いたしました。

★生活支援体制整備事業の周知活動及び啓発活動

☞ 事業周知に向け、「広報誌」「ホームページ」「ラジオ」「出前講座」を活用して周知活動に努めました。

★全市的な課題解決に向けたアプローチ

☞ 「さわやか収集事業」の充実に向けたアプローチ

☞ 「お話広場えがお」新規開設（開設：第2・第4火曜日 午前11時～午後3時／総合福祉センター）

★取り組みを進める地区へのアプローチ

☞ 地区の関係者と協議を行い、地域の実情を踏まえ取り組みを進めました。



地区単位にかかわる取り組み

取り組みを進める地区については、想定されていた9割の地区の関係者にご理解いただき事業の取り組みについての話し合いを持つことができています。

進め方については、地区の自主性・主体性を大切に、地区の関係者の方々から実情やご意見を聞かせていただき、地区ごとのペースで懇談会や企画を進めています。

今般の新型コロナウイルスの影響に伴い、令和2年2月下旬以降の懇談会や話し合いについては延期をしている状況ですが、地区の関係者との協議や地域課題に関するアンケート等を行い、再開に向けた準備を行っています。

各地区の取り組みの中から、3つの地区をご紹介します。

西地区



西地区の住民から様々な日常生活での困りごとが西コミュニティセンターに寄せられ、その課題解決に向け「西地区地域活動推進協議会」が設立されました。様々な地域課題の解決や取り組みを地域にある団体や企業等とも連携し一体となり進めています。取り組みを実行するために各部会を設置し、会議や事業の企画立案を行っています。

市内で最初に地域課題の見える化等の動きを行い、生活支援体制整備事業においては高齢者部会が事業推進の窓口となり、地域支え合い推進員もサポーターとして会議や事業に関わらせていただいています。

最近では、地域課題の解決に向けた取り組みをより効率的に進めることができるよう、組織の見直しも行われており、高齢者部会の構成や役割の明確化に向けた話し合いも行いました。

また、部会同士が連携して事業も実施。住民が交流できるお祭り等、様々な企画も実施されました。企画の1つ、災害を踏まえた避難訓練では、同地区住民や高齢者施設も参加して高台への避難訓練や炊き出し訓練も行われました。



北地区



北連合町内会が中心となり町内会や民生委員、NPO等にご参加いただき2カ月に1回のペースで話し合いを重ね、地域課題の見える化や地域課題の解決にむけた検討を行いました。

会議の回数を重ねる中で、より効果的に協議が進められるよう参加者と話し合い、北地区の各エリアや分野から数名を選出し、構成された第二層協議体「北町未来」が立ち上がり、現在はそこが中心となり課題解決に向けたワークショップ等を行っています。

海が近い地域性もあり、「災害」に対する不安の声が多く寄せられました。

それを踏まえ、「災害時の助け合い」に向けた北地区独自の取り組みとして、日頃からの住民同士の助け合える関係づくりの必要性を盛り込んだ「災害時の約束」を作成し、北地区住民へ配布行いました。住民が抱えている課題の解決に向け、住民の声や知恵を生かした1つの取り組みにつなげることができました。



北町未来 災害時の約束

この「北町未来 災害時の約束」は、北地区に在住の皆さんが、災害への備えとして、日頃から準備しておくべき約束をまとめたものです。互いに助け合い、日頃から地域内で連携を図って下さい。

- 自分や家族の身は自分で守りましょう。
- 日頃から家族と安全確認ができる方法を話し合っておきましょう。
- 自宅からの避難経路や避難場所、避難所を確認しておきましょう。
- 日頃から近所づきあいを深め、助け合える関係を作っておきましょう。
- 防災関係機関などからの勧告や指示に従い行動しましょう。

網走市北連合町内会
～みんなでつながろう～ K I T A M A C H I 未来～

鉄南地区



鉄南地区連合町内会が中心となり、町内会や民生委員、老人クラブ、高齢者ふれあいの家等に声かけを行い、2カ月に1回のペースで懇談会やワークショップを開催しています。自分達の地域づくりを考えていくにあたり、遠い未来ではなく、近い未来として5年後を見据え話し合いを行っています。

ワークショップでは、地域にある魅力や課題の見える化を行い、参加者からは「改めて自分の住んでいる地域のことを考えるきっかけになった」「普段住んでいる地域の魅力を再確認できた」等の声も出ていました。

話し合いを重ねていく中で、参加者同士がより意思疎通が図れるよう、鉄南地区が交流研修会を企画する等の工夫も取り入れ、性別や年齢を問わず意見を出し合える活気ある話し合いの場づくりにつながっています。

今後は、住民ができる身近な地域課題の解決に向けた取り組みからスタートし、話し合いを進めていく予定となっています。

